



ふじみだい

「令和」の始まりはチャレンジで

校長 山本 加奈代

青葉若葉のさわやかな季節を迎えています。体を動かすにもちょうどよい時期で、休み時間になると子どもたちが嬉しそうに校庭に集まり、思い思いの遊びを始めています。今年度が始まって約一か月が経ちますが、子どもたちは新しい学年、学級での生活に少しずつ慣れてきたところです。

先日、全校で1年生を迎える会が行われました。1年生と6年生が手をつないで入場し、入学後、初めて2年生から6年生までのお兄さんお姉さんと対面しました。初めは少し緊張気味の1年生でしたが、各学年からプレゼントをもらったり、一緒にゲームをしたりして会の進行とともに、笑顔がたくさん見られるようになりました。



1年生を安心させてあげようとする在校生の気持ちが伝わってくるような温かい会でした。

さて、5月1日から新元号「令和」となり、日本中で新しい時代を迎えることとなります。そのため、今年は例年よりも長い期間の連休となります。子どもたちは少し疲れが出てきている時期ですので、これだけ休めることは嬉しいことかもしれません。その日を境に、世の中が180度変化することはおそろくないだろうと思われませんが、わたしたちの一生の中でも改元を経験することは、それほど多くはないはずです。

10日間の休みの過ごし方も、それぞれの家庭に応じて計画していると思いますが、新時代を迎えるこの休みを少し利用して、ぜひ、何か自分で挑戦する機会を設けてみてはいかがでしょうか。特別なことでなくても、普段はあまり時間がなくてできないことや、いつもやってみたくは思っていたがなかなかできなかったことに、時代が変わるこの時期にぜひ挑戦してほしいと思います。

ちなみに私は富士見台小学校から自宅まで歩いてみようと思案中です。災害時では交通網が止まってしまうことが予想されますが、実際に歩けるのかなと4月に着任してからずっと考えていました。土日の休みではなかなか実行できず過ごしていましたが、歩くのにもちょうどよい気候ですので、この連休に挑戦してみようと思案中です。そのときの様子については、また機会をみて報告させていただきます。新時代に向けて、どんなに小さなことでも挑戦できたことを残してみるのも、一つの思い出になりそうです。

ぜひ、みなさんもこの連休に何か一つ挑戦してみてください。